

ハピカム  
ミライデザイン会議

豊後高田市

## 観光資源

六郷満山文化を今に伝える古利(こさつ)群、真玉海岸の夕日、昭和の町など、歴史も自然も人の営みも、全てが観光資源となって多くの人を引きつけている豊後高田市。さまざまな立場から市の魅力アップにつながる活動に取り組む若手リーダー4人が集まり、観光の現状について話し合った。そこから浮かび上がった課題の解決に向けた取り組みが、市の未来を築く。



真玉海岸の夕日

## 心がくすんだら高田において

## 取り組みや課題を議論

**佐藤** 豊後高田市には魅力的な場所がたくさんあります。今日はその魅力と併せて、皆さんの取り組みや課題について話し合っていきたい。

**河野** 富貴寺の跡継ぎで、「旅庵路臺(ふきのとう)」でそばを打ったり料理をしたりしています。

**安藤** 市商工観光課に勤務して2年目。農業分野が長く、地域振興でグリーンツーリズムにも関わっていました。観光でも農業でも、ずっと地域資源を生かして活性化させるという仕事をしています。

若手リーダー  
市商工観光課観光係長  
安藤与一郎さん

**正田** JTB九州大分支部の営業で県北エリアを担当し、一般の法人やお寺さんを回っています。豊後高田は個人的に好きな場所も多く、家族でもよく行きます。

**松崎** 真玉海岸で「SOBA CAFE ゆうひ」をやっています。お店を始めたのはこっちに帰ってきた8年前。最初はカフェをして、2年ぐらいい前からそばを出しています。

**清末** 「杵や」のおかみです。主人が「子どもを豊後高田で育てたい」といって、昭和の町ができた時に東京から帰ってきました。帰ってきてすぐよかったと思う。私は新潟出身ですが、万一、主人とどうにかなくても高田に残ろうというくらいこの町が好きだし、人が好きです。子どもも高田が大好きなので、子どもたちが残れるよう、町に仕事がたくさんあるといいですね。

## 六郷満山開創1300年祭

**佐藤** 豊後高田市といえば国東半島。国東半島といえば六郷満山。2018年は六郷満山の開創1300年祭ですが、今の取り組み状況は。

**河野** 10年に1回、峰入りという行事があり、1300年祭に合わせて行おうと考えています。前回はJTBさん一般参加者のお世話をしてもいい、延べ300人くらいが歩きました。今年から安藤さんに協力してもらって、33カ所の霊場巡りツアーをしています。私が小さいころはお寺巡りといえばバスツアーと決まっていたけど、今はマイカーで回ようになって団体旅行が減り、参拝者が3分の1ぐらいい減ってきました。どうにかしたい。今、同世代の若いお坊さんが多く、お寺の間で協力態勢もできているので、1300年祭も大きいイベントにできるといいます。

**佐藤** お寺としてこういうことをしてほしいという要望はありますか。

**河野** お寺もお店と同じで、頑張っていきたいお寺にしないと1回来たら飽きられてしまう。自己努力が必要です。住職が面白い話をしてくれたとか、奥さんが接待してくれたとか、そういうイメージを付けていって、「どのお寺も印象が強かったな」という感想を持ってもらえるようにしないといけない。33カ所全体に満遍なく参拝してほしい。それが霊場の魅力を上げていく上で大事です。

**安藤** 1300年の行事に向けて、県市も、国東市、杵築市、宇佐市、日出町で組織をつくって、国東半島全体で素材磨きをしています。来年、本格的に動きだします。豊後高田にとって、国東半島としてブランドイメージを確立できる大きなチャンスです。六郷満山だけでなく、それを切り口とした全体の観光に結び付けていかないとはいけません。

**正田** 今年は高野山の開創1200年で、全国やアジアから多くの人々が訪れています。私も2回行ったけどものすごい人。でも「せっかくなので京都、大阪を見て帰ろう」という発想になり、行程が高野山周辺だけで終わる感じではありません。周

辺の地域から情報発信がうまくされていけば、もうちょっと滞在してもよかったかなと思います。1300年祭でも、大分県にいかん長く滞在してもらうか、近隣の地域と同時にPRできる仕組みづくりが必要ではないでしょうか。

## 日用品売らない商店街

**松崎** ここ2、3年、国東半島に入ってくる人の質が良くなったと感じます。以前は昭和の町が有名で、ツアーに組み込んでもらって団体の観光客が来ていたけど、今、国東半島に入ってきているのは旅をしに来る個人客が多い。国東半島に求められるものが変わってきている気がします。旅する人が増えたという流れが、1300年祭につながるといいます。お客さんが減っているというけど、団体客が減っているだけで、心底このまちが好きで、心の安らぎを求めて来ているお客さんは増えていると思う。

**河野** お寺もそういう人に対応していけるようにしないといけないと思っています。

**松崎** 1300年の峰入りは、個人客に届くように情報発信できると、爆発的に人が来る可能性があるんじゃないかな。

**正田** 国東半島は奥深いというか、一回知ってしまうとさらに知りたくなるというエリア。もう一回見てみたいという素材がいっぱいあります。以前に峰入りのお手伝いをした時、東京や大阪から1人で参加するお客さんも多かった。峰入りの情報から入っていて、1人では参加できないからJTBのツアーに参加したんでしょう。高齢者の1人旅などは旅行社の手伝いが必要だと思うし、ツアーが充実することで、個人でまた来たいと思ってもらえるきっかけになるといいます。

**清末** せっかく団体客が来てくれるというの

に要らないとは言えません。昭和の町ができた最初のころ、JTBさんが関わってくれたことに感謝しています。そのころはすごくいい案内人がいて、JTBさんもその案内人を使ってくれていました。でも今は案内人が簡素化してしまっていて、お客さんに魅力が伝わらない。お客さんも満足していないと思います。地元の人を楽しんでいると思う。内側からもっと強めていかないと。

**河野** ずっと豊後高田で育って、昔は買い物といたら昭和の町に行っていたけど、最近はスーパーに行きますね。この頃は地元の人がいらないから、観光で行っても寂しい感じがすると思います。地元の人か買い物したり遊んだりできるような、内側からもっと強めていかないと。

**清末** 実際に今、約40店舗のお店がある中で、地のお店が少ない。新しく来た人、1ターンの人が多くいます。私たちが、どうしたら地元の人が来てくれるか考えています。魚屋さんや肉屋さんがいない商店街、日用品を売っていない商店街に地元の人はいません。どうにかして品物を置きたいという話は出ています。

**松崎** 今、商店街全体でやばいと思っているんです。

**清末** 思っているのは一部ですね。いろいろ考えるけど、5人で考えたときにはまとまっても、10人じゃぐまともでないし、20人じゃもっとまとまらない。

**松崎** まとまるのを諦めたい。誰かが勝手にやるしかない。今までずっと昭和の町でやってきた地元の人だけじゃなく、新しく入ってきた人をわざとものと使っては。

**清末** そういう取り組みもやったことはあるけど、うまくいきません。

**松崎** 昭和の町の店主たちも、意識を変えた

方がいい。

## 歴史見つめ直す勉強会

**佐藤** 意識改革が重要ということですね。

**松崎** 昔みたいに観光客がどっと来てお土産を買って帰るという状況はもうありません。昭和の町のターゲットは50代、60代ですか。

**清末** 今は若い人が多いです。

**安藤** レトロが新しいということでもカップルが多い。

**清末** そういう人はお寺には行かないです。

**河野** 昭和の町に来ている若い人とお寺に来る若い人は客層が違うと思う。それが一緒にならないと連動できない。お寺に来ている若い人たちが昭和の町に行きたいと思えるようにしないと。

**清末** 「新しい昭和の町をつくろう」という発想はずっとして、個人で動いているお店もあります。以前、私が「若い人の力が必要」と何人かに声を掛けただけ、誰も立ち上がってくれませんでした。

**安藤** 諦めないで立ち上がってください。

**清末** ずっと頑張ってきたつもりなんだけど。

**松崎** この状況だとしてもならなそうだから、市がある程度方向性を見つけて導いてあげないと、昭和の町は問題ですね。みんなで本気で考えないとやばい。

**安藤** 何といっても昭和の町が豊後高田の観光の入り口です。確かに今、人気が下がりが気味なので、六郷満山など周辺から昭和の町へという流れを強化していく必要がある。それぞれの魅力も上げていかないといいけど、お互いが連携し、魅力を高め合う相乗効果を生むような周遊観光が必要だと思います。それをするにも人が大事。そういう仕組みが構築できたらと思います。

**河野** 昭和の町ができたストーリーなど、清末さんはお客さんに話していると思うけど、町の全員が話せないと魅力が伝わってきません。新しく入ってきた人と歴史を見つめ直す勉強会をするとか。

## ボードウォーク整備を

**佐藤** 語り部をぜひつくってください。ところで、市は今「恋叶(こいかな)ロード」を売り出し中で、力を入れているそうですね。

**安藤** 日本風景街道に認定されている国道213号の沿線で、緑結びにちなんでスポットを結び付け、恋かなうかもしれないというストーリーを仕立ててプロモーションしています。今は栗駒公園を整備していて、年明けに茶屋も出来上がりそうです。

**正田** 私もよく通ります。整備されていて、ドライブしていて気持ちいい道です。

**松崎** 長崎県に行くと、アートをみて、栗駒神社に行くと、最後はうちで夕日を見て帰るというコースだけで、うちには何もいから完結しない。カップルの2人は何か完結したいと思っているはずですよ。

**正田** 成就感というかな。

**河野** 何か記念になるものがあればということですね。

**松崎** 最近考えているのがボードウォークです。海岸の周りをデッキで1㌔くらい囲んで、可能なら栗駒までつなぎたい。真玉の海岸は手付かずだから、段差が大きくてお年寄りが下りられない。整備が不十分で、けがもしやすい。ボードウォークがあれば車いすの人も散策できるし、そういうものがあると完結すると思う。お金が掛かる大きな夢だけど、まずは一カ所でもいいか

ら、砂浜に下りやすいよう整備してほしい。

**河野** 確かに。子どもを遊ばせやすいけど、足が痛いんですよ。もっとリゾートっぽく整地したらカップルも来やすい。

## 移住した人の声を発信

**松崎** 豊後高田には本当にこの土地を愛してくれて、国東半島全体が好きで移住している人がいっぱいいます。豊後高田の魅力その人たちが教えてもらって、自信ができました。

**河野** いろいろアイデアも出てくれるし。そういう人たちが入ってくると刺激になるし新しい展開もできる。彼らを受け入れると高田も活性化するでしょう。

**安藤** 市も、移住してきた人に意見を聞いて情報発信しています。「これだけ住みやすいんですよ」と示すことで、定住人口を増やすことにつながる。その人たちの意見を聞きながら、市も次に何をすべきかを考えています。

**清末** 移住して来た人の力を借りるのは大事なことだと思います。移住して2、3年目の人はちょうど今、すごく何か頑張りたい時期だと思う。松崎 竹屋さんから聞いたけど、日本で一番いい竹ができるのは真玉と香々地の海辺だそうです。でも、一番いい竹がある所に竹細工職人がいない。昭和の町にも竹細工はびつたりで、いろんなことが解決できそうだから、市が別府辺りから竹細工職人さんを引っ張ってきたらいい。

## パレットに絵の具足す

**佐藤** そろそろ未来につながるキーワードを探していきたいと思います。例えばは癒やしとか。

**松崎** 豊後高田市って、大分市や別府市の人にとって非日常なんですよ。お寺にもボーッと来ている人が多い。

**正田** 体の中を浄化しに来ている感じですよ。

**清末** その癒やしとか、真玉では夕日で、お寺で、昭和の町では人。

**松崎** あとは色。富貴寺の中は昔、極彩色で壁画が描かれていたけど、豊後高田市や国東半島は色が強い。自然の中に緑や赤、黄と原色に近い色がいっぱいあって、それらがぐるりと仏様の周りを囲んでいる。それが、灰色や黒に近い精神状態で仕事をしている都会の人の感情に迫ってくるんだと思います。

**正田** 自分の中のパレットに、絵の具の色を足しに来ている感じ。パレットには2色ぐらいしかなかったけど、真玉に行ったらオレンジ色が加えられていたとか。観光客が求めるものは食、仏、山、恋愛など細分化されていて、それぞれ違いますが、でもスタートは違っても、うまく流れて、最終的に全部回ってもらうのが皆さんの一番望むところでしょう。それぞれのいいところを尊重できれば、いい色が出てくるのではないのでしょうか。

## 生活の中の仏教大切に

**佐藤** 国東半島は、いろんな期待に応えられるものを持っている感じがします。

**松崎** 仏が好きで人からよく、「京都や奈良に比べて国東半島は仏の距離が近い」と言われます。

**安藤** 住職との距離が近いのも六郷満山の魅力です。

**河野** 昔から生活の中にお寺があった地域で、それが続いている良さがあります。これからその良さを保ち続けていかなければなりません。

## ★県内TOPクラスの安い保育料

保育園は待機児童ゼロ。保育料の無料化(第2子3歳未満児、第3子以降)を実施中。幼稚園は18時まで月額300円の一時的預かりをしています。

## ★花っこルーム・おひさまひろば

子ども連れで気軽に足を運べる室内公園のような「花っこルーム」や中央公園そばの「おひさまひろば」で情報交換。子育て用品のレンタルも実施中。

## ★子育てmama相談窓口

先輩ママのコンシェルジュが、子育てに関することから、就労に関することまで、ワンストップの窓口にてご案内いたします。

## ★学びの21世紀塾

保・幼・小・中学生を対象とした、無料の市営塾です。さまざまな講座を開設し、学習をサポートし、県内でもTOPクラスの学力水準です。

## ★夢まち分譲地・子育て支援住宅

人気の格安分譲地(坪単価3万円から)や子育て世帯に優しい「エミール城台」入居者募集中!転入する際にも、引越し費用や家賃への一部助成があります。



豊後高田市役所 子育て・健康推進課 TEL0978-22-3100

ぶんごたかだ、  
五つ星★の子育て。

全国初!「住みたい田舎」  
3年連続ベスト3

豊後高田で  
賢く子育て

